エアフェンスクイックチャート

株式会社エアテック

	開発フロー	施工フロー前処理	（コンクリート打設）施工フロー	
エアテックJVシステム	基本設計→実施設計→施工設計 各種工法の比較時にエア工法をご検討いただく 施工設計時にエアフェンス施工手順書を提出します	鉄筋梁ユニット製作+エアフェンス下地組み立て→配筋揚重 鉄筋に補強筋を制作しておくだけで大幅な削減が可能！	相番作業も軽減 エアフェンス解体 エアフェンス取付→柱部コン打設→梁部コン打設脱型→完工 鉄筋設置途中に手間途中に一緒に制作 設置工：1 ※1名指導員必要な場合あり 解体工：0 ※1名指導員必要な場合あり 品質向上のため材料費は変わらない 材料費：2 人件費削減 就業ロスの低減 更なる工期短縮	= 3
エアフェンスの従来工法	基本設計→実施設計→施工設計	鉄筋敷設→配筋揚重→エアフェンス下地組み立て	最低4人工以上必要 設置工：4 作業工程により手待ち状態が出来てしまう 解体工：2 ※1名指導員必要な場合あり 工程管理の効率化・工程が省略できる 材料費：2 ランニングコストの低減 品質向上 エアフェンス施工→コンクリート打設→解体→完工	= 8
ラス工法	基本設計→実施設計→施工設計	止水性･施工性の向上 躯体内に異物が残らない為 強度･耐久性アップ 他業種の取り合い作業・手待ち作業等が多発発生 鉄筋組み立て中、ラス組立取付→配筋完了	最低8人工以上必要 設置工：7 元請けの厳しい管理が必要！ 転用による資材の削減や環境保全と後工程の効率化が急務 サビクラックの防止 高い止水性が出来ない 後処理人工が必要 高強度コンクリートの流出が多い 型枠解体後、防水・止水補修工事が必要！ コンクリート打設→コンクリート流出部ハツリ→撤去→搬出→完工	= 7+@